

## 福祉サービス第三者評価結果（総括表）

### ① 第三者評価機関名

茨城県社会福祉協議会

### ② 施設・事業所情報

名称：瓜連保育園		種別：保育所	
代表者氏名：小笠原 純生		定員（利用人数）： 165名	
所在地：那珂市瓜連 1222			
TEL：029-296-3663		ホームページ： <a href="http://joufukuji.a.la.jp/ho">http://joufukuji.a.la.jp/ho</a>	
<b>【施設・事業所の概要】</b>			
開設年月日 昭和46年4月1日			
経営法人・設置法人（法人名等）：社会福祉法人 和順福祉会			
職員数	常勤職員： 29名	非常勤職員：	21名
専門職員	（専門職の名称） 名		
	保育士 37名	栄養士	2名
	看護師・准看護師 2名	調理員	4名
施設・設備の概要	（居室数）保育室9、調乳室、一時預かり保育室、子育て支援室、給食室、	（設備等）倉庫4、食品倉庫	
	休憩室3、事務室、相談室、休憩室、沐浴室		

### ③ 理念・基本方針

**【保育理念】**

子ども一人一人を大切に、保護者からも信頼され地域に根差した保育園を目指す。

**【保育方針】**

心と身体の自立を促し、豊かな人間性を培う保育

### ④ 施設・事業所の特徴的な取組

6年間におよぶ保育園生活が、成長してからの子どもの育ちに大いに関わってくるという理解のもと、どうしたら社会で生き抜いてゆけるかを常に考え最良の環境を提供できるよう研究を重ねている。今だけがよいのではない、今できることが後々できなくなるかもしれない、大事なのは保育園以降である。このため、子どもの育ちを大人の都合で振り回さず、自己肯定感を育てる基礎をつくる環境を構築することに日々取り組んでいる。

ひたすら丁寧に子どもたちに関わること、これがすべてである。近年この取り組みは、ジャーナリスト小林氏の著書の中で、地方からでもよりよい保育を発信するモデルとして取り上げられている。

近年の保護者が、大事な子どもを預ける園をきちんと見学して選ぶことが当たり前となっている中、地理的に好条件とはいえない当園を選び子どもを預けたいと思っていたらと自負している。それに恥じないよう我が身を振り返ることは大変重要なことである。

仏教保育の三綱領を基に思いやりのあるたくましい子どもに育つよう「保育目標」を定めるとともに、大人の都合で行う保育から脱し、子どもとの信頼関係を礎とした丁寧な保育を実践している。

管理者は保育目標を実現するため、保育士が子ども一人ひとりに関わる時間を増やせるよう、職員の確保及び人員配置、就業時間の変更などの働きやすい環境作りを行うとともに、各クラスを小人数編成とし、先進園への視察や園外研修に職員を派遣させるなど、保育の質の向上にむけ積極的に取り組んでいる。

子どもの自主性や主体性を育むために、各クラスを小人数で構成し、園庭遊びや室内での遊びは思う存分楽しむことが出来るようにしている。また、園庭や園の裏側にあるきれいに整備された裏山で、土手上りや木登り、草花遊びをする等、五感で四季を感じながら、さまざまな体験ができるよう支援している。

仏教行事への参加やお泊り保育、地域の方々との交流、誕生月に祖父母を招待し、昼食を子どもと一緒に食べる機会を設けるなど、社会性を育む支援を行っている。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成29年8月2日（契約日）～ 平成30年 月 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（平成 年度）

#### ⑥総評

##### ◇特に評価の高い点

管理者は、保育士が子ども一人ひとりに関わる時間を増やせるよう、職員の確保及び人員配置、就業時間の変更などの働きやすい環境作りを行うとともに、各クラスを小人数にしたリ、先進園への視察や園外研修に職員を派遣させるなど、保育の質の向上にむけ、積極的にリーダーシップを発揮している。また、階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の職員の職務や必要とする知識や技術水準に応じた教育・研修の機会に職員を派遣している。

職員は、子どもの欲求やペースに合わせ、好きなことを好きな時間にさせる保育に取り組む中で、一人ひとりの子どもの状態を把握するとともに、適切に関われるよう取り組んでいる。

園では園庭や園の裏側にあるきれいに整備された裏山で、土手上りや木登り、草花遊びをする等、五感で四季を感じながら、さまざまな体験ができるよう支援している。また、仏教行事への参加やお泊り保育、地域の方々との交流、誕生月に祖父母を招待し、昼食と一緒に子どもと食べる機会を設けるなど、社会性を育む支援を行っている。

##### ◇改善を求められる点

現状に即した経営環境や保育の内容等について、目指す目標を持っているが、中・長期計画として策定していないので、目標達成に向けた数値目標の設定や実施状況が確認できるよ

うな計画を策定することが望まれる。

階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の職員の職務や必要とする知識や技術水準に応じた教育・研修の機会に職員を派遣しているが、瓜連保育園として「期待する職員像」を明確にしていなかったため、現在取り組んでいる保育の内容や取得すべき資格等を明確にし、目標項目や目標期限等を定めるとともに、進捗状況の評価・確認を行える仕組みづくりを期待する。

子ども一人ひとりを大切に寄り添う保育をしているが、記録に関する取り決めや評価反省に関する事項が十分ではないので、記録に関するマニュアルの作成や評価シート等を整備し、次年度の計画づくりに役立てることを期待する。

標準的な保育の方法等、普段取り組んでいる保育の内容を収集し、標準的な保育の手順等、誰が見ても理解できるマニュアルの整備を期待する。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

初めての受審に当たり、あえて特別な準備をせず現状のままを評価頂いた。やはり日頃より不十分と思われる部分に関して評価は高くはない。

すでに職員や利用者が理解しているとの思い込みはやめ、きちんと文書で示すことの重要性、開園当初から手つかずになっていた文書・分掌、改定によって大きく変わったガイドラインに基づくマニュアルなど、特に文書・書式の面での脆弱さを露呈することになった。

一方で、必要な書式を完ぺきにそろえ、職員に対してもいわゆる第三者評価対策を事前に漏れなく行っておけば、大きく評価も変わるだろうと予見できる。このことはすなわち、今回の結果は、実践している保育そのものを示すものではないということだろう。給食の評価などは概ね低いことに納得しかねる部分もあったが、これが実際に提供している給食そのものを表しているのではないことも実感した。

以上を理解の上でも、結果を公表することとは大変苦しい決断を伴うものであった。しかし、今後改善の余地を持って、今実践している保育をさらに推し進めるためにも、公表に踏み切ったものである。保護者のご意見の中に、我々を大いに勇気づける意見を数多くいただいたことに改めて感謝申し上げたい。

#### ⑧評価細目の第三者評価結果（別紙）

## 福祉サービス第三者評価結果（個票）

対象	分類	項目	細目	評価結果	判断根拠・特記事項等	
I	1	(1)	①理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	パンフレットに保育目標、仏教保育の三綱領を明示し周知を図るとともに、保育理念や基本方針は保育課程に明示している。保育目標等について、園長が職員会議等で周知を図るとともに、入所前の説明会において口頭で保護者に伝えている。今後は、保護者に対しても文書で分かりやすく周知を図ることを期待する。	1
I	2	(1)	①事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	c	管理者は事業経営を取り巻く環境と、会計事務所からの経理等に関する報告により経営状況は把握しているが、地域での特徴・変化などの経営環境の課題を分析するには至っていない。	2
I	2	(1)	②経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	c	保育内容や人材育成に関する経費の費用負担は園で行っている。経営状況の把握や分析が組織的に取り組まれてはいないので、具体的な課題や問題点を明らかにするとともに、職員へ周知する事を期待する。	3
I	3	(1)	①中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	現在取り組んでいるハンガリー保育の取り組みや認定こども園化等についての目標はあるが、中・長期計画等に明示するには至っていない。明確となっている目標等について、数値目標や具体的な設定を伴う計画の策定を期待する。	4
I	3	(1)	②中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c	単年度の事業計画が行事計画になっているので、行事計画ばかりでなく、保育内容の変更や認定こども園化に向けた取り組み状況を踏まえた事業計画の策定を期待する。	5
I	3	(2)	①事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	c	保育計画の内容は意見集約や随時話し合い等を行っているので、事業計画の策定にあたり、職員等の参画や意見の集約、反映の仕組みを整備する事を期待する。	6
I	3	(2)	②事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	c	工事や保育施設に係る具体的な事項は、保護者会を開いた際に話している。また、園だより、クラスに応じた行事計画を周知している。事業計画の策定にあたり、保護者にわかりやすいよう資料を作成するとともに、配布等の周知を図ることを期待する。	7
I	4	(1)	①保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	c	毎年ふりかえりシートによって職員が自己評価を行い、主任が分析するとともにフィードバックしている。ふりかえりシートの他に役員会に提出している自己評価資料を、職員間でも実施することを期待する。	8
I	4	(1)	②評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	c	ふりかえりシートに良かった点と課題となる点、次年度の目標を明記し、職員会議で話し合いをしている。新たに作成した評価シートを活用し、評価結果や分析結果から生じた課題について明文化することを期待する。	9

## 福祉サービス第三者評価結果（個票）

対象	分類	項目	細目	評価結果	判断根拠・特記事項等	
II	1	(1)	①施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	c	施設長として、自らの役割と責任を含む職務分掌を作成するとともに、平常時や有事における施設長不在時の権限委任も明確にしている。自らの役割について、広報誌等に掲載することを期待する。	10
II	1	(1)	②遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	管理者は遵守すべき法令等について関係団体等の会議に出席し、把握や情報収集するとともに、職員に必要な情報は職員会議で話している。	11
II	1	(2)	①保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	保育の質の向上を図るため、保育士が子ども一人ひとりに関わる時間を増やせるよう、子どもの人数に配慮したクラス編成を実施している。職員の提案により、取り組んでいるハンガリー保育を取り入れるにあたり、定期的に職員を園外研修に参加させている。	12
II	1	(2)	②経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	管理者は目指すべき保育の実現に向け、職員確保及び人員配置、働きやすい環境づくりに努めるとともに、クラスの人数を職員が出来るだけ子どもに関われるよう配慮した編成を行っている。	13
II	2	(1)	①必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	c	保育の実情に応じて職員を確保及び配置をしているが、育成や確保に関する方針を確立するには至っていない。今後、認定こども園化に向けた計画を明示するとともに、人材確保に関わる計画を立てることを期待する。	14
II	2	(1)	②総合的な人事管理が行われている。	c	人事に係る基準を就業規則に明示している。ふりかえりシートや希望調査を行うとともに、年1回管理者による職員面接により職員の意見や要望を聴いている。認定こども園化に向けた「職員像」を持っているが、明確にするには至っていない。	15
II	2	(2)	①職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b	有給休暇の取得状況や就業状況等を把握するとともに、年1回の職員面接により、就業の意向や希望を把握している。 職員の働きやすい職場作りの一環として、福利厚生を実施しているが、職員への周知が十分ではないので、周知することを期待する。	16
II	2	(3)	①職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	c	職員一人ひとりの育成に向けた仕組みを構築するには至っていない。職員一人ひとりの育成に向け、「期待する職員像」を明確にし、明文化することを期待する。	17
II	2	(3)	②職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	c	「期待する職員像」を作成するには至っていないので、職員一人ひとりの研修計画の策定と、研修受講に関する体制を構築することを期待する。	18

## 福祉サービス第三者評価結果（個票）

対象	分類	項目	細目	評価結果	判断根拠・特記事項等	
II	2	(3)	③職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	階層別研修，職種別研修，テーマ別研修等の機会を確保し，職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。現在取り組んでいるハンガリー保育に関わる研修に職員を受講させている。外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに，参加を勧奨している。	19
II	2	(4)	④実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し，積極的な取組をしている。	c	実習生の受け入れにあたり，実習内容等について養成校との連携を図っている。受け入れる際のマニュアルの作成や独自のプログラムを用意するには至っていないので，実習生に関わる研修・育成に関する体制を整備することを期待する。	20
II	3	(1)	①運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	c	ホームページを活用し，保育目標，仏教における三綱領，苦情処理の状況等を公開している。また，「決算報告」及び「保育園における自己点検，自己評価」を公開している。地域への情報公開，活動，基本方針等，分かりやすく文書での説明がなされることを期待する。	21
II	3	(1)	②公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	c	会計責任者を置き，事務，経理の流れについて，職員に周知している。外部監査を受けるには至っていないが，会計事務所との連携により経理の確認を行うとともに，経営に関する助言を得ている。	22
II	4	(1)	①子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	c	子育て支援センターの開設，一時保育，出前保育，学童保育等を実施している。お祭りや運動会の行事等に地域の方々を招待し，触れ合う機会を設けている。地域との関わり方に関する基本的な考え方について，文書化するには至っていない。	23
II	4	(1)	②ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	c	ボランティアの受け入れにあたり，担当職員を決め，手順等の説明を行っているが，マニュアルを策定していないので，安全確保のためにも，マニュアルの策定を期待する。ボランティアや中学生の職場体験を受け入れる際には，クラス便りで周知している。	24
II	4	(2)	①保育所として必要な社会資源を明確にし，関係機関等との連携が適切に行われている。	b	ボランティアや配慮を要する子ども等に関する必要な社会資源を明確にするとともに，職員会議等で周知している。社会福祉協議会との相談事業を企画し相談場所を提供したり，配慮を要する子どもへの関係機関との連携は積極的に図っている。	25
II	4	(3)	①保育所が有する機能を地域に還元している。	c	季節に応じた行事の開催，子育て支援センターの開設，一時保育，出前保育，学童保育等実施している。災害時等の地域における役割等について，災害時の地域支援や保護者と子どもの引き取りに関する事項の整理等，園として取り組めることを確認し，地域への貢献がなされることを期待する。	26
II	4	(3)	②地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c	子育て支援の実施，園庭開放，子育て相談事業を通して，地域の福祉ニーズの把握に努めている。民生委員・児童委員等からのニーズ把握や地域貢献に関わる事業・活動は実施していない。	27

## 福祉サービス第三者評価結果（個票）

対象	分類	項目	細目	評価結果	判断根拠・特記事項等	
Ⅲ	1	(1)	①子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	c	子どもを尊重した保育について共通理解を持つため、仏教保育(豊かな人間関係を培う)について学び合う取組を行っている。職員が人権啓発のための研修を受け、共通理解を図るため職員会議で話し合い、保育に取り組んでいる。	28
Ⅲ	1	(1)	②子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	c	プライバシー保護等の権利擁護に関する事項を運営規程に、不適切な事案発生時の対応について就業規則に明示するとともに、職員に周知し、それに基づいた保育を実施している。規程等の整備は行っているが、マニュアルを作成していないので、マニュアルの作成とそれに基づく保育の実施を期待する。	29
Ⅲ	1	(2)	①利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	市の広報誌への掲載や、ホームページに保育目標、年間行事等の必要な情報について写真等を交え掲載している。見学の受け入れを随時行っており、見学等希望者には担当者がパンフレット等により説明している。	30
Ⅲ	1	(2)	②保育の開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	b	入所前の説明会を実施し、パンフレットにより保育内容等を説明するとともに、保護者からニーズに関する意見徴収を行っている。また、保育内容変更時にも保護者説明会を実施している。	31
Ⅲ	1	(2)	③保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	c	保育所の変更にあたり、継続性のある保育に取り組めるよう担当者を設置する等、今後の対応に関する手順等を取り決めるには至っていない。手順や引継ぎ文書等を作成し、対応できる体制作りを期待する。	32
Ⅲ	1	(3)	①利用者満足の上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	c	園では、意見箱の設置や、連絡帳による意見徴収、送迎時、保護者会や役員会等で保護者の意見や要望を聴いて対応しているが、調査を実施するには至っていない。保護者に満足度調査に関する仕組みを整備することを期待する。	33
Ⅲ	1	(4)	①苦情解決の仕組みが確立してお、周知・機能している。	b	苦情解決の体制を整備するとともに、苦情や検討内容等の対応策についてホームページで公表している。職員等が送迎時に保護者と話ができるよう働きかけているが、アンケートを実施する等、保護者から意見等を聴取できる仕組みづくりを期待する。	34
Ⅲ	1	(4)	②保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	c	保護者会や役員会等で周知を図るとともに、事務室等に相談できるスペースを確保している。送迎時に気にかかる保護者へ園側から声かけを行う等、相談できるような働きかけを行っているが、相談相手や方法を説明した文書を作成することを期待する。	35
Ⅲ	1	(4)	③保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	c	苦情を受け付けた場合は、園全体で考える体制を構築しており、解決に向け迅速に対応している。職員等は送迎時に保護者へ声かけを行う等の働きかけを行っているが、マニュアル等を整備していないので、相談を受ける際の記録の方法、報告などの手順や対策等を整備し、組織として対応することを期待する。	36

### 福祉サービス第三者評価結果（個票）

対象	分類	項目	細目	評価結果	判断根拠・特記事項等	
Ⅲ	1	(5)	①安心・安全な保育の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	瓜連保育園分掌表にリスクマネジメントに関する責任者を明示するとともに、ヒヤリハット等に記録し、起こった事象について職員会議等で検討し、再発防止策の検討を行っている。	37
Ⅲ	1	(5)	②感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	感染症予防と発生時の対応マニュアルを作成し、職員はマニュアルに基づく感染症対策に取り組んでいる。感染症に関する外部研修に職員を受講させるとともに、職員全体での内部研修を開催している。保護者への情報提供は、玄関先への掲示やクラスだよりで周知している。	38
Ⅲ	1	(5)	③災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。	b	災害時の役割分担について瓜連保育園分掌表に明示するとともに、避難訓練等を行っている。安全確保のための取り組みを行っているが、食料や備品類等の備蓄リストを作成し、地域の避難場所としての取り組みも検討することを期待する。	39
Ⅲ	2	(1)	①保育について標準的な実施方法が明文化され保育が提供されている。	c	調乳等の乳児に関わる事項や手洗いの仕方などの保健衛生に関わる実施方法を明文化するとともに、保育室等に掲示している。現在取り組んでいるハンガリー保育に関する取り組みについて、実施方法を明文化するとともに、職員間で共有することを期待する。	40
Ⅲ	2	(1)	②標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c	指導計画は乳児・2歳児は標準的な実施方法について見直しをされているが、3歳以上児についての保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施され、指導計画の内容が必要に応じて反映されることを期待する。	41
Ⅲ	2	(2)	①アセスメントにもとづく個別の指導計画を適切に策定している。	c	入園時に面談を行い、家庭状況調査票、身体状況等を把握するとともに、保護者にどのような保育実施上のニーズがあるかを聴いている。支援が困難なケースは、役所や嘱託医との話し合いを行い、計画を策定している。	42
Ⅲ	2	(2)	②定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	c	保育目標を達成するため、子どもの年齢に応じた職員会議により指導計画の見直しを行っているが、評価や見直しを行う手順等が定められていないので、手順等の体制整備を期待する。	43
Ⅲ	2	(3)	①子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	c	エリア会議や職員会議を通じて、保育の実施状況の確認や課題等を周知している。3歳以上児の個別の指導計画書に基づく保育が実施され、職員によって記録内容に差異が生じない記録の作成を期待する。	44
Ⅲ	2	(3)	②子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	運営規程を定めるとともに子どもの記録等の管理責任者を定め、規程に沿った運営を行っている。行事の際の写真撮影など、個人情報の漏えいに配慮した働きかけや取り組みを行っている。	45

### 福祉サービス第三者評価結果（個票）

対象	分類	項目	細目	評価結果	判断根拠・特記事項等	
付	1	(1)	①保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	c	仏教保育の三綱領に基づく保育目標を達成するため、領域別指導計画や年間指導計画を作成している。保護者のニーズを考慮し、土曜日も1日保育を行っている。ふりかえりシートを活用し、年度末に振り返りを行っているが、評価するには至らないので、評価する体制を整備するとともに、次年度の保育に活かす取り組みを期待す	A-1
付	1	(2)	①生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	室内の温度や湿度管理、保育室の採光等の保育環境は常に適切な状態に管理している。部屋の清掃や洗濯、ぬいぐるみの洗浄、遊具・玩具の安全・衛生管理に十分配慮している。	A-2
付	1	(2)	②一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	少人数クラスで、子どもの欲求やペースに合わせ、好きなことを好きな時間にさせる保育に取り組んでいる中で、職員が一人ひとりの子どもの状態を把握するとともに、適切に関われるよう取り組んでいる。	A-3
付	1	(2)	③子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	職員は少人数クラスの中で、強制することなく子どもが自発的に取り組めるよう働きかけている。園では子ども達が「良く遊び」、 「良く食べ」、 「良く寝る」保育に取り組んでおり、活動と休息のバランスが保たれるよう工夫している。	A-4
付	1	(2)	④子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	職員は少人数クラスの中で、子どもが指示待ちではなく自発的に生活と遊びに取り組めるよう働きかけている。裏山での遊びを通し、思い切り登ったり走ったり滑ったりと、自然と触れ合うことができるよう工夫している。	A-5
付	1	(2)	⑤乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	園では、少人数での関わりによって細やかな保育が無理なくできるよう、職員を増員したり、途中入所時も含めて関わり方を工夫している。子どもが安心して保育士と愛着関係をもてるよう配慮するとともに、家庭との連携も図っている。	A-6
付	1	(2)	⑥3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	保育士は子どもの年齢や発達に応じた支援・援助を行っている。また、縦割り保育を取り入れ、異年齢での子どもの繋がりをつくれるよう支援している。探索活動も戸外での遊びを中心に取り入れ、園の周辺で存分にできる環境となっている。	A-7
付	1	(2)	⑦3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	保育士は子どもの年齢や発達に応じた支援・援助を行っている。また、集団の中で子ども一人ひとりの個性が活かされ、友だちと遊ぶ楽しさを教える等、適切に関わっている。年長クラスの子どもは、年2回小学校との情報交換を行う機会を持つとともに、卒園生の情報交換も行っている。	A-8
付	1	(2)	⑧障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	環境整備としてのバリアフリーにはなっていないが、段差も少なく受け入れることができる。園での生活状況や障害の状態に応じ、発達相談センターや大学の研究室などの関係機関と連携し、相談や助言を受けている。	A-9

### 福祉サービス第三者評価結果（個票）

対象	分類	項目	細目	評価結果	判断根拠・特記事項等	
付	1	(2)	⑨長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	朝夕の保育、平常時の保育など、子どもにとって平常心で生活できるよう十分共通理解を図り、保育に当たっている。職員間での引き継ぎノートを作成し、間違いなく引き継ぎができるようにしている。3時や合同保育の時間におやつや果物等を提供している。	A-10
付	1	(2)	⑩小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	市内の学校との情報交換を年2～3回実施し、気になる子どもに関して指導課が保育所訪問し、相談センターの職員を交えて話し合いを行っている。	A-11
付	1	(3)	①子どもの健康管理を適切に行っている。	c	登園時にノートに子ども1人ひとりの状態を記入してもらうことにより把握しているが、記録は保育士が記載している。乳児の突然死に関する周知も十分になされ、午睡の観察も十分に行っている。健康管理に関するマニュアルを整備することを期待する。	A-12
付	1	(3)	②健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	c	健康診断や歯科検診を定期的に行い、結果を保護者や職員間で周知しているが、結果を記録するには至っていない。家庭でのおよつもの摂取状況を把握し、歯磨き指導等をしている。	A-13
付	1	(3)	③アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	入園時の面談でアレルギーに関する情報を把握するとともに、医師の指示に従い除去食を提供している。検査は半年に1度行っている。年少児は誤って口に入ることがないように、アレルギーの子どもは席を離して食事をするなどの配慮している。	A-14
付	1	(4)	①食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b	園では子ども達がお腹いっぱい食べられるように、素材を活かした添加物の少ない食材で調理したものを提供している。子ども達の食べられる量を把握した配膳を行うとともに、おかわりも自由ができる。残さず楽しく食事ができるよう、食器の材質や形等に配慮するなどの環境づくりをしている。	A-15
付	1	(4)	②子どもがおいしく安心して食べることでできる食事を提供している。	c	調理員・栄養士など、子どもの食事の様子を見たり、一緒に食事をしたりと、食事の進み具合や食べ方等を見て献立の配慮をしている。季節の行事には行事食を出したり、誕生月には祖父母を招待し昼食と一緒に食べる等の取り組みを行っている。衛生管理マニュアルも整備しているが、見直しをする等更なる充実を図ることを期待	A-16
付	2	(1)	①子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	連絡帳により家庭における子どもの様子等に関する事を情報交換している。保護者会、運動会、夏祭り等の行事を通して、子どもの成長を共有できるように支援している。	A-17
付	2	(2)	①保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	いつでも相談に応じる体制と送迎の際に保護者とのコミュニケーションを積極的に図るとともに、連絡帳を活用し子どもの情報等を知らせている。園では保護者の就労状況を把握し、早番・遅番や土曜保育を実施している。	A-18

### 福祉サービス第三者評価結果（個票）

対象	分類	項目	細目	評価結果	判断根拠・特記事項等	
付	2	(2)	②家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	職員は普段の保育時に子どもの様子を観察するとともに、送迎の際に保護者とのコミュニケーションを図り家庭での状況を把握している。必要に応じてケース会議を開催し職員に周知するとともに、対応について協議している。社会福祉協議会から子ども課を通し、連携を図っている。	A-19
付	3	(1)	①保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	職員は1年間の保育の取り組みについて、保育士チェックリストやふりかえりシートにて自己評価を行い、次年度に向けての希望等を副園長や主任と話し合っている。	A-20